



ロータリー:
変化をもたらす

Weekly

尾張旭ロータリークラブ



・会長 西尾 輝久 ・幹事 菊田 利昭 ・クラブ会報 加藤 清久
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail : jimu@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org

2017-18年度 地区方針 「今日からのロータリーを楽しもう！」

本日 第2261回 2017年9月30日(土) No. 2146

本日のプログラム Today's Program

担当者:親睦活動委員会

点 鐘 18:00

月見例会 於良福寺書院

前回 第2260回 2017年9月22日(火) 記 録

○斉唱:「奉仕の理想」

○ゲスト:笠松体操クラブ 代表 笠松 茂様
ヘッドコーチ 笠松 和永様

○出席者:会員 21 名中 17 名出席 出席率 80.95%
前々回補正出席率 9 月 8 日分 100.00%

会長あいさつ



今日は常に我々ロータリーと比較される事が多いライオンズクラブについてお話してみようと思います。ライオンズクラブは社会奉仕団体「ライオンズクラブ

国際協会」に所属する単位のクラブであります。(ロータリークラブは国際的な社会奉仕連合体「国際ロータリー」のメンバーである単位のクラブです)ロータリークラブのように社会奉仕活動を職域や個人で行うだけで無く、集団のチームワークで有意義に効果を高める目的の友好団体です。概要は、2010 年全世界でクラブは、45,740 クラブ(ロータリーが 33,000 クラブ)会員は約 134 万人(ロータリーは 120 万人)。日本国内のクラブは 3,311 クラブ(ロータリーは 2,287 クラブ)。会員は 109,000 人(ロータリーは 88,328 人)です。ロータリーと同じで該当地域に居住地や事業所を有さない会員もいます。クラブの会員数は平均的に 30~60 人と同様です。スロ

ーガンは、Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety 自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図るの意で、Lions の一文字ずつを取り入れたものです。モットーは、We Serve(われわれは奉仕する)であり、ライオンズの誓いは、「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」であります。社会奉仕活動としましては、高齢者福祉対策、精神障害者・身体障害者対策、献血、献腎、献眼、骨髄移植推進、視覚障害者・言語障害者・聴覚障害者対策、青少年薬物乱用防止対策、環境保護対策、国際協調、青少年海外派遣及び受け入れ等があります。歴史としましては、1917 年にアメリカ・シカゴ元ロータリアンであったメルビン・ジョーンズが提唱して発足しました。会員育成プログラムとして、ライオンズクラブ、レオクラブがあり、青少年育成海外への派遣もあるようです。もう一つ、ロータリークラブ、ライオンズクラブに並ぶ世界三大社会奉仕団体の一つで、「キワニス」という団体があります。これは、世界 96 ヶ国 8,000 のクラブで構成され、会員は成人が約 28 万人、子供は約 32 万人で活動しています。活動の特徴は、「世界の子供達に奉仕する」であり、「まずは子供を第 1 に考えよう」をモットーに国際的に活動しています。

幹事報告

・9/13(水)尾張旭市共同募金運営委員会 於尾張旭市
保健福祉センター 西尾会長 出席

経済と地域社会発展・米山記念奨学会月間

	10月6日(金)	10月14日(土)	10月20日(金)	10月27日(金)
例会予定	卓話担当者:桜井 雅博君 卓話者: 演題:「会員増強あれこれ」	担当:社会奉仕委員会 尾張旭市民祭協賛 苗木配布 (10/13 振替) 於スカイワードあさひ イベント広場南	卓話担当者:米山委員会 卓話者:米山記念奨学生 陳 文娟さん 演題:「自己紹介」	担当者:クラブ奉仕委員会 移動例会 於尾張旭市立稲葉保育園

- ・9/14(木)米山奨学生学友総会 於ホテルキャッスルプラザ 西尾会長 山田地区副委員長 古橋エツ子米山記念奨学委員長 出席
- ・9/18(月)地区青少年サミット 於キャッスルプラザ 西尾会長 金森青少年奉仕委員長 出席

卓話



オリンピック 笠松体操クラブ

代表 笠松 茂

「オリンピックへの道」

この度は尾張旭ロータリークラブにお招きいただき有難うございました。今年 70 才を迎え、随分と

昔のことになりますがお話させていただきます。

幼い頃は、三重県熊野市、目の前が太平洋、後ろは山という自然環境に恵まれた田舎で育ちました。中学1年になる時に体操の新任の先生が来られました。体を動かすことが好きだった私は、新しくできた体操部に即入部しました。当時の練習環境は、今では考えられないもので、テニスコート横のグラウンドに畳一畳程のマットをつなぎ、跳び箱の踏切板はバネの無い硬い木、鉄棒は埋め込まれた木の支柱で鉄の棒、そんな環境で練習していました。中学3年の時、三重県の大会で個人総合8位に入れたのが最高でした。その後、木本高校に進学。2回のインターハイに出場出来ましたが、いずれも予選落ちという結果でした。体操を続けたいと思い、当時の強豪校だった東京教育大学を受験しましたが、残念なことに不合格。思案の末、中京大学の二次試験を受験し、何とか合格しました。中京大学の体操部は、同学年だけでも80名程いるマンモス体操部でした。また、その中でもインターハイで10位以内に入った選手も数名いました。練習では、同僚・先輩・一線級で活躍する中山 彰規先生等の影響もあり毎日のように新しい技をマスターしていけるといった状況で、楽しくて仕方なかったという感じでした。そんな時、西日本新人戦の学内予選会があり、運良く予選通過順位では最下位でしたが、9位に入り通過しました。いざ、本番の大会ではノーミスの演技で、思ってもみなかった個人総合優勝となりました。1・2年生の出場するこの大会で優勝したことは、「田舎から出てきて、ただ、体操が好きでやっていた自分でもやれるんだ！」という大きな自信になりました。これが最初のチャンスでした。

その後、3年生の時、全日本選手権に出場。この時も運良くノーミスの演技ができ、個人8位で初めてナショナル強化選手に選抜され、日本のトップレベルの選手達の仲間入りができたのです。これが二つ目のチャンスでした。強化合宿では大きな刺激を受け、日々の練習にも力が入りました。その後、予選会でついに日本代表の座を獲得できました。ところが、それはユニバーシアードの正選手か世界選手権の補欠かどちらかを選択するというものでした。結局、4年に一度開催される世界選手権の補欠を選びました。現地に行ってみると、その後活躍するソ連のアンドリアノフ選手も同じ補欠の立場でした。宿舎では、チームリーダーの遠藤幸雄先生と選手のマッサージ、競技の時には台の下で皆の荷物を持って移動しながらの応援。「あーっ、競技に参加したかったな！台の上で演技したかったな！」と本当に悔しい経験をしました。これが飛躍につながる三つ目のチャンスでした。

次こそはという気持ちで、その後の練習に一層力が入り日々ひたすら練習に励みました。その2年後、初めて正選手として日本代表選手となり、1972年のミュンヘンオリンピックに初出場となったわけです。団体優勝、個人総合5位、平行棒2位、ゆか・鉄棒3位と、金・銀・銅の1セットいただくことが出来ました。初めてのオリンピックで最高の喜びでした。その流れに乗って、1974年のブルガリアの世界選手権では、団体・個人・ゆか・跳馬で金メダルを獲得することが出来ました。今、お話させていただいたように、好きでやっていたことが、頑張っていればいつかチャンスは巡ってくるものだと思います。運もあるでしょうが、そのチャンスをものに出来るかどうかだと思うのです。オリンピック前に、男女合同での合宿が良くありました。そんな中で今の妻との出逢いがあり、そして、そのチャンスをものにして結婚につながったということもありました。オリンピックの時がデートの場ともなり、楽しい思い出として残っています。



オリンピック 笠松体操クラブ

ヘッドコーチ 笠松 和永

お招きいただき、有難うございます。私は付き添いの気持ちで来させていただきましたので簡単にお話させていただきます。

主人と同じく福井県大野市の田舎で育ちました。体操は中学1年から始めました。丁度中学2年生の時に東京オリンピックがあり、テレビで観戦していました。「凄いなー」と思いつつ別世界の人達だと思っておりました。まさか、その4年後に自分がオリンピックに出るなどとは夢にも思いませんでした。

高校に進学して3年後に福井国体があるということで、その強化選手に選抜されたのが大きなきっかけでした。高校1年の頃のトレーニングは本当に厳しいものでした。その結果、2年生のインターハイでは、団体・個人総合ともに優勝。全日本選手権に出場できる資格も得ました。福井国体を前に、先生から「全日本選手権（メキシコオリンピック第一次予選）に出るぞ！」と言われ、気楽な気持ちで出場したのですが、運良く予選通過。二次予選でも個人総合2位も成績で通過、そして最終予選で日本代表入りとなったのです。当時30才代の選手が活躍する中、オリンピック器械体操では最年少となる高校生代表ということでマスコミでも大きく取り上げてくれました。

国体の為にひたすら頑張っていたのですが、その国体には出場できず仲間達が優勝してくれました。福井国体の強化によってチャンスをつかむ事が出来ました。

現在、長久手市杵ヶ池にあります笠松体操クラブで東京の次のパリオリンピックを目指し、子供達の指導に明け暮れています。瀬戸、尾張旭等から通っている選手もおります。これから出来る限り指導を続けていきたいと思っております。

また、笠松体操クラブのお近くにお越しの際は、是非気軽にお立ち寄りいただき、子供達の頑張る姿をご覧いただき、また応援いただければ幸いです。本日はありがとうございました。

※ニコボックスは次週掲載させていただきます。